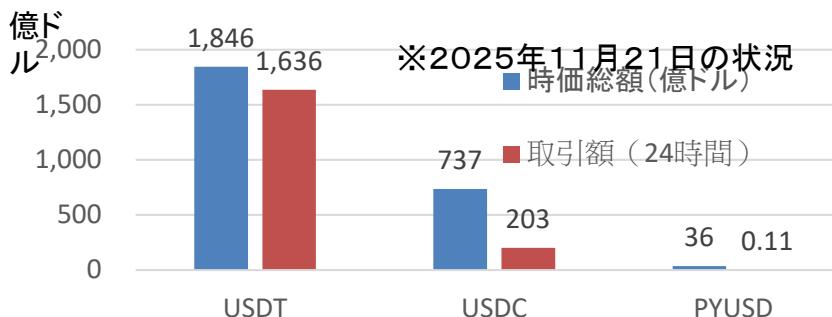


2025年12月 掲載	JIP's Direct「FOCUS」:	本格化するステーブルコイン発行への取組みとその可能性
	第1章	日本におけるステーブルコインとその動向
	第2章	米国GENIUS法の概要とその影響
	第3章	課題と期待について
	第4章	ステーブルコイン利用拡大を投資視点から考える

ステーブルコインの分類

分類	担保方式・特徴	代表例	メリット・デメリット
法定通貨担保型	発行体が銀行口座等で現金や国債などを保有し、1:1で交換	USDT, USDC, JPYC, PYUSD	価格安定性が高い。発行体の信用・規制リスクあり。
暗号資産担保型	ETHやBTCなどの暗号資産を過剰担保しスマートコントラクトで管理	DAI, LUSD	分散性・透明性が高い。担保資産の価格変動リスクが大きい。
アルゴリズム型	担保資産を持たず、供給量調整等のアルゴリズムで安定化	UST(Terra)、FRAX	柔軟な発行が可能であるが、信頼崩壊時の暴落リスクが高い。

主なSCの時価総額・取引額



※CoinMarketCapのHPから作成

ステーブルコインの概念簡略図

